

■一般目標 (GIO)

顎口腔領域を診査診断するために必要な基礎知識及び基本的な検査法を理解する。その検査から得られる所見に基づく診断過程を知る。

■到達目標 (SBOs)

- ① 放射線の歯科医学的利用に関連し必要とされる正しい知識と技術を学ぶ。また歯科衛生士が行う診療補助や、患者に対してその検査の必要性を理解させ、適切な治療を行うためのX線検査の正当性および危険性について学ぶ。
- ② 口腔を全身と一体化した形で捉える能力を養成する。
- ③ 口腔内症状，一般症状，各種検査所見を理解出来る知識を習得する。
- ④ 顎関節や筋肉の疼痛についての知識を習得する。
- ⑤ 心理的な問題のある患者についての基礎的な知識を習得する。

■教科書：最新歯科衛生士教本 歯科放射線学
(全国歯科衛生士教育協議会編：医歯薬出版)

■参考書：新版 歯科診療における放射線の管理と防護 第2版
人体への影響の正しい知識と理解
(佐々木武人・島野達也編：医歯薬出版)

■授業時間：水曜日 15:00～15:50, 16:00～16:50

■オフィスアワー：出澤 幸 水曜日 17:00～18:00

(dezawa.kou62@nihon-u.ac.jp)

澤田久仁彦 水曜日 17:00～18:00

(sawada.kunihiko@nihon-u.ac.jp)

篠崎 貴弘 水曜日 17:00～18:00

(shinozaki.takahiro@nihon-u.ac.jp)

野間 昇 水曜日 17:00～18:00

(noma.noboru@nihon-u.ac.jp)

■授業の方法：教科書および配布資料の内容を中心に，スライドを活用した講義形式で進める。

■準備学習・教科書の指定ページを一読して授業に挑むこと。医療用語が準備学習時間：頻出するため，事前にまとめておくと理解しやすい。

■成績評価方法：出席（30%），定期試験（70%）で評価する。

■注意事項：シラバス記載以外に理解度確認の為，小試験を随時行うことがあるので，講義で記録したノートは毎回，持参すること。

■実務経験：出澤 幸：日本大学歯学部歯科放射線学講座に所属。歯科放射線学及び口腔診断学の臨床経験から，歯科放射線における基礎的，臨床的な内容を理解し活かせるよう努める。

澤田久仁彦：日本大学歯学部歯科放射線学講座に所属。歯科治療の経験を基に歯科医師の立場から歯科 X 線検査について，本教科で学ぶ内容が，実際の臨床で活かせるよう努める。

篠崎貴弘：日本大学歯学部口腔診断学講座に所属。日々の臨床経験と口腔診断学，歯科心身医学の観点から口腔症状，一般症状，各種検査を理解し活かせるよう努める。

野間 昇：日本大学歯学部口腔診断学講座に所属。ペインクリニック臨床の経験から，顎関節・筋肉について理解し，活かせるように努める。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 4月7日 澤田久仁彦	1-1. オリエンテーション 歯科放射線の意義 1-2. 放射線物理 1)放射線物理基礎 (教) pp. 8-10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科放射線学の意義を学ぶ。X線検査の必要性およびその歴史を学ぶ。 ・ 放射線基礎的知識を学び，X線の性質と物質との相互作用などを学ぶ。
第3・4回 4月14日 篠崎 貴弘	2-1. 口腔診断学総論 歯科医療の特殊性 2-2. 問診 病歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔診断学の定義・その必要性について学習する。歯科患者の特性，心理状態について理解する。 ・ 問診の心構え，その重要性，技術，順序について学習する。 ・ 情報収集の一つである病歴には，一般環境情報，主訴，現病歴，既往歴，家族歴等があり，それらの聴取内容と聴取時の注意事項を理解する。
第5・6回 4月21日 出澤 幸	1-2. 放射線物理 2)X線発生装置 (教) pp. 8-10 pp. 20-22 1-3. X線写真学 1)X線フィルム (教) pp. 23-40 pp. 31-32 pp. 95-97	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放射線基礎的知識を学び，X線の性質と物質との相互作用などを学ぶ。また，各種X線発生装置の構造を学ぶ。 ・ X線フィルムの構造と構成，X線フィルムの種類と分類，増感紙とカセット，フィルムの感度について学ぶ。 ・ デジタル画像について学ぶ。
第7・8回 4月28日 篠崎 貴弘	2-3. 現症（口腔内・外） 2-4. 視診 触診 バイタルサイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般現症の診査として顔貌，リンパ節，開口障害，舌，扁桃の診査とその意義について理解する。 ・ 局所の現症の診査方法（触診，打診，温度診，動揺度

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
		<p>診) について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> バイタルサイン (意識, 呼吸, 脈拍, 血圧, 体温) の臨床的意義を理解する。
<p>第9・10回 5月12日 澤田久仁彦</p>	<p>1-3. X線写真学 2) 現像処理 (教) pp. 106-108 1-4. X線検査法 1) 口内法撮影 1 (教) pp. 33-39 pp. 64-80</p>	<ul style="list-style-type: none"> X線フィルムの写真処理 (現像処理過程) 法とその種類を学ぶ。フィルムの管理についても学ぶ。 二等分面法, 平行法, 正放線投影の理論と方法を学ぶ。
<p>第11・12回 5月19日 出澤 幸 篠崎 貴弘</p>	<p>1-4. X線検査法 2) 口内法撮影 2 (教) pp. 35-44 2-5. 口腔症状の診断について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 偏心投影, 咬合法, 咬翼法の理論と方法を学ぶ。 歯痛・歯肉の痛みや顎関節の症状のある患者さんの診断について理解する。
<p>第13・14回 5月26日 澤田久仁彦</p>	<p>1-4. X線検査法 3) 口外法撮影 1 (教) pp. 45-48 1-4. X線検査法 4) 口外法撮影 2 (教) pp. 49-53</p>	<ul style="list-style-type: none"> パノラマ撮影法の原理と構造を学ぶ。顎顔面域の単純撮影法の基準面について学ぶ。 顎顔面域の単純撮影法 (斜位, 顎関節, 側貌頭部X線規格撮影法, 後前法) を学ぶ。
<p>第15・16回 6月2日 出澤 幸 野間 昇</p>	<p>1-4. X線検査法 5) 口外法撮影 3 (教) pp. 53-61 2-6. 診断の難しい痛みの診断方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特殊撮影法 (歯科・医科用 CT, 造影など) を学ぶ。 診断の難しい痛みを訴える難症例を学習し, 診断のアプローチの仕方について学習する。
<p>第17・18回 6月9日 出澤 幸</p>	<p>1-4. X線検査法 6) 撮影の失敗例 1 (教) pp. 92-94 1-4. X線検査法 7) 撮影の失敗例 2 (教) pp. 82-84 pp. 100-103</p>	<ul style="list-style-type: none"> 口内法における撮影法と現像処理による失敗例とその原因と対処法について学ぶ。 口外法における撮影法と現像処理による失敗例とその原因と対処法について学ぶ。 また, 口内法撮影時の感染予防について学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第19・20回 6月16日 澤田久仁彦 野間 昇	1-4. X線検査法 8) 口外法撮影 4 (教) pp. 57-59 2-7. 診断の難しい痛みの検査	<ul style="list-style-type: none"> • 放射線を使用しない診断法 (MRI, US 検査など) を学ぶ。 • 診断の難しい痛みを訴える難症例の検査方法, 種類について学習する。
第21・22回 6月23日 澤田久仁彦	1-5. 放射線防護 1) 防護の為の基礎知識 (教) pp. 11-16 (参) pp. 31-96 1-5. 放射線防護 2) 防護の基本原則 (教) pp. 16-19 (参) pp. 1-30	<ul style="list-style-type: none"> • 放射線の単位および人体への放射線の被曝と影響, 被曝線量の測定を学ぶ。 • 放射線防護の基本原則や術者 • 患者への防護を学ぶ。
第23・24回 6月30日 澤田久仁彦 野間 昇	1-5. 放射線防護 3) 放射線治療および防護のまとめ (教) pp. 120-125 2-8. 診断の難しい痛みの治療	<ul style="list-style-type: none"> • 放射線治療と生物学的作用, 組織・臓器に対する放射線の応用を学び, 放射線防護の基本原則や術者・患者への防護を再確認する。 • 診断の難しい痛みを訴える難症例の治療方法について学習する。
第25・26回 7月7日 出澤 幸	1-6. X線写真の読影の基礎 1) X線解剖と正常像 (教) pp. 1-2 pp. 85-88 pp. 104-105 1-6. X線写真の読影の基礎 2) 異常像 (教) pp. 3-7 pp. 89-92 pp. 105	<ul style="list-style-type: none"> • X線写真の正常像及びX線解剖について学ぶ。 • X線写真や特殊撮影の異常像について学ぶ。
第27・28回 7月14日 澤田久仁彦 篠崎 貴弘	1-7. デジタルX線システム (教) pp. 24-26 pp. 33 pp. 118-119 2-9. 臨床検査	<ul style="list-style-type: none"> • デジタルX線システムについて, その基礎や使用法などについて学ぶ。 • 臨床検査 (血液検査, 尿検査等) の意義, 重要性について学習する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	歯科治療と全身疾患との関係	<ul style="list-style-type: none"> • 口腔領域に出現する全身疾患の症状および歯科治療に影響を与える全身疾患について学習する。
第29・30回 8月25日 出澤 幸 篠崎貴弘	1－8. X線撮影および診断の総括 ・ 実際の検査手順や診断について学ぶ。また、これまでの学習のまとめおよび補足を行う。 2－10. 心身医学 心身症の定義 心身症の診断, 治療	<ul style="list-style-type: none"> • 実際の検査手順や診断について学ぶ。また、これまでの学習のまとめおよび補足を行う。 • 心と体の関係について理解する。 • 心身症の定義について理解する。 • 歯科領域の心身症（舌痛症，義歯不適合症，顎関節症，味覚異常，口臭症等）の診断，治療について学習する。